主題：ノア、ダニエル、ヨブ――
命の路線において勝利を得る命を生き、神のエコノミーを完成する模範

メッセージ　5

ノア（3）

復活における生活（1）

召会生活の種

聖書：創 8:4 ― 9:17．Ⅰペテロ 3:20-21．ローマ 6:3-5

Ⅰ．ノアの箱船は死の水を経過して、アララテの山にとどまりました。これは、キリストが復活の中で死を経過して、死から復活したことの予表です――創 8:4．Ⅰペテロ 3:20-21：

A．箱船はキリストの予表ですから、箱船が水を経過して水から出てきたという事実は、復活におけるキリストを表徴します。

B．キリスト、キリストだけが、死の中に入って復活の中で死から出て来ることができます。なぜなら彼は復活であり、復活のものであるからです――ヨハネ 11:25．使徒 2:24．啓 1:18。

C．箱船が洪水を経過して山にとどまった時、八人が箱船の中にいました――創 7:7：

1．箱船が経験したことは何であれ、彼らも箱船の中で経験しました。

2．これは、どのようにして信者たちがキリストの中にいることによって、十字架につけられ、キリストと共に復活させられるかを例証します――Ⅰコリント1:30．エペソ1:4．ローマ6:6．Ⅱコリント5:14．ガラテヤ2:20前半．エペソ2:6．コロサイ2:12．3:1。

3．わたしたちはキリストの中にいるので、彼の経験はわたしたちのものとなりました――Ⅰコリント 1:30。

D．キリストは復活の中で命を与える霊と成り、わたしたちの中に入って来て、彼の復活の命をわたしたちに分け与えました―― 15:45 後半．ヨハネ 20:22．ローマ 8:11。

Ⅱ．洪水の後のノアと彼の家族の生活は、キリストの復活における召会の生活を表徴します。これは召会生活の種です――創 8:4 ― 9:17：

A．八人が箱船から出て来ました―― 8:18：

1．キリストが復活させられたのは週の初めの日、あるいは安息日の翌日でした。それは古い週の八日目です。ですから、八という数は復活を表徴します――ヨハネ 20:1．参照、創 17:12。

2．召会の構成要素である、キリストにあるすべての信者はキリストの復活に含まれているので、彼らは復活した民です――エペソ 2:6．Ⅰペテロ 1:3。

B．祭壇はキリストの十字架の予表であり、ささげ物はキリストのさまざまな面の予表です――創 8:20-21：

1．箱船の建造とその上のささげ物は、十字架を通してキリストを神にささげることを表徴します。

2．わたしたちが召会生活の中で行なう必要がある最初のことは、十字架上で終わらされてキリストを経験し、神の満足のために経験したキリストを神にささげるこ

とです――エペソ 5:2．ヘブル 13:15．Ｉペテロ 2:5。

Ｃ．召会生活の中で、わたしたちは神の表現と代行のために、神の当初の目的に戻されます――創 9:1-7．1:26。

Ｄ．わたしたちのクリスチャン生活と召会生活は契約の生活です。召会生活は神の契約の下にある生活であるので、わたしたちは実は、「契約の召会」と呼ばれることができます―― 9:12-17．ヘブル 13:20-21。

Ⅲ．キリストの中へとバプテスマされた者として、信者たちは命の新しさの中を歩いて、キリストの復活の命の中で召会生活をし、キリストのからだを建造すべきです――ローマ 6:3-5．12:4-5：

Ａ．ヨハネによる福音書には復活における召会生活の絵があります―― 2:1-22．12:1-11：

１．キリストは復活であり命であって(11:25)、神の家の建造のために死を命に変えます―― 2:1-22：

ａ．主イエスは復活の日以来、復活の命の中で彼のからだを拡大してきました――19-22 節。

ｂ．今日わたしたちはなおも「三日」の内にいます(19 節)。なぜなら主はなおも働いて、復活の過程の下で彼のからだを建造しているからです。

ｃ．クリスチャンとしてのわたしたちの生活は、死を命に変え、キリストの奥義的なからだを建造する事柄です。

２．ヨハネ第 12 章 1 節から 11 節に、キリストの復活における召会生活の縮図があります。それは団体の生活であって、復活の命、主の臨在の中で祝宴をする命、奉仕し、証しし、愛する機能を持つ命によって生み出されます。

Ｂ．使徒行伝で、復活における召会生活の増殖を見ます―― 1:22．2:24, 31-32．3:15．4:2, 10, 33．5:30．10:40-41．13:29-30, 33-34, 37．17:18：

１．使徒たちは復活したキリストの証し人であり、それは言葉においてだけでなく、彼らの生活と行為においてでもあり、特に彼の復活の証しを担っていました――1:22．2:32．4:33。

２．キリストの復活の証しを担うことは、神の新約エコノミーを遂行することでの重要な点、焦点です。

Ｃ．ローマ人への手紙でパウロは、諸地方召会として表現されるキリストのからだのために、命の新しさの中を歩くことについて語っています―― 6:3-5．12:4-5．16:1, 4：

１．バプテスマはわたしたちとキリストとの同一化を表徴します。バプテスマを通して、わたしたちはキリストの中に浸し込まれて新しいパースンとなり、彼をわたしたちの領域として、彼の死と復活の中で彼に結合されます―― 6:3。

２．命の新しさの中を歩くとは、復活の領域の中を生き、命の中で支配することを意味します―― 5:17。

３．キリストの復活の様の中にあるとは命の新しさの中を歩くことです。そのような歩みはからだのためであり、からだは絶対にキリストの復活の命の中にあります――6:5．12:4-5。

©2005 Living Stream Ministry